

令和 5 年度
事業報告書

社会福祉法人 豊肥福祉会

I 法人本部 事業報告

1. 法人運営報告

令和5年度は、「質の高いサービスの提供」「経営基盤・健全財務の確立」「質の高い人材育成」「人材確保と組織風土の醸成」「環境整備(地域含む)の強化」の5つの重点目標を掲げ運営を行ってまいりました。

新型コロナは、インフルエンザと共に流行はありましたが、感染対策の徹底を続けることでクラスターはあったものの最小限に抑えることが出来るようになり、外出やイベントも新型コロナ発生以前のように行い従来の生活に戻りつつあります。

社会情勢は、不穏な状況が続いており燃料費や電気代・食材費等事業運営に係る諸経費が高騰し内部統制機能の強化や財務規律の強化が求められ、本部事務局を中心に事業運営の透明性の向上・適切な予算管理の推進・取引業者の契約内容見直し・価格設定の検証・法令遵守等内部規範の整備等に努めてきました。

福祉ニーズは、地域環境の変化、制度の変遷とともに、取り組む課題も複雑化・多様化し需要は増え続けており、より高い専門性が求められるようになりました。しかしながら、福祉担い手も働き方の多様化や少子高齢化の加速もあり、人材育成・人材確保が一層厳しい状況となっており、内部研修を中心に職員の資質の向上に努めてきました。

この厳しい状況のなか、令和5年度は、事業活動収入13億 2,378万円で着地しました。

令和6年度は、「生産性の向上」「安心安全が確保された業務継続」が強調された報酬改定がなされ、よりガバナンス強化が求められています。

本部事務局を中心に、社会情勢を注視しながら持続可能な事業運営の展開を図るとともに「業務効率化」「経費節減」「人権意識・資質向上」「リスクマネジメント徹底」「地域貢献」に取り組み、職員一人ひとりが、人権を意識し知識技術を上げムリムダをなくし、利用者・家族・地域から信頼・信用され、「利用者・職員・地域 満足度アップ」の組織づくりに努めます。

2. 概要

(1) 沿革及び所在地一覧

開設	本部及び拠点	正式名称	所在地	電話及び FAX
S60.12	本部	★社会福祉法人 豊肥福祉会	別府市亀川四の湯町 18 番 18 号	0977-75-6775 0977-75-6776
H27.1	相談	★特定相談支援事業所のびる園 ★一般相談支援事業所のびる園	大分市大字田尻字川成 92 番 1 大分市大字田尻字川成 92 番 1	097-585-5472
S61.4	のびる園	★のびる園 ★グループホーム母家 グループホーム愛の家 グループホーム恵の家	竹田市大字三宅 1559 番地 1 竹田市荻町高城 1173 番地 1 竹田市大字君ヶ園トチセ 628 番地 3 竹田市荻町高城 1173 番地 1	0974-63-2889 0974-63-2893
H28.4	明日の輪	★多機能型事業所 明日の輪 ★グループホーム明日の輪 ★短期入所空床利用型事業所明日の輪 明日の輪 路の家 明日の輪 大地の家 明日の輪 森の家 明日の輪 風の家 明日の輪 花の家	大分市大字佐野字宮ノ下 4453 番地 大分市大字佐野字宮ノ下 4454 番地 大分市大字佐野字宮ノ下 4454 番地 1 大分市大字佐野字宮ノ下 4454 番地 1 大分市大字佐野字宮ノ下 4454 番地 2	097-578-6611 097-578-6622
H29.4	大樹	★就労継続支援B型 大樹 ★グループホーム大樹 グループホーム 大樹 楓 グループホーム 大樹 向日葵 グループホーム 大樹 秋桜 グループホーム 大樹 花水木 グループホーム 大樹 椿木	豊後高田市大字高田字古浜 2110 番地 6 豊後高田市大字高田字文塚 2069 番地 7 豊後高田市大字高田字古浜 2083 番地 2	0978-25-6325 0978-25-6326
H29.8	美久の杜	★就労継続支援B型事業所 美久の杜 ★介護サービス包括型共同生活援助事業所 美久の杜 グループホーム 希望の家 グループホーム 宇宙の家 グループホーム 銀河の家 グループホーム 陽向の家 グループホーム 櫻咲の家	大分市大字中戸次 4776 番地 2 大分市大字中戸次 4776 番地 2 大分市大字中戸次 4776 番地 2 大分市大字中戸次 4715 番地	097-535-8815 097-535-8816
H30.4	ひかり	★ひかり ★ひかりの杜 ふじがおか ★ひかりの杜 むなかた グループホーム ほしの家 グループホーム つきの家 グループホーム あさひの家 グループホーム にじの家 グループホーム あかりの家	大分市大字田尻 92 番 1 大分市大字田尻 960 番地 63 大分市上宗方 1224 番地 2 大分市上宗方 1224 番地 2 大分市上宗方 1327 番地 1	097-535-8788 097-535-8789
H31.4	はな	★多機能型事業所 はなの里 ★介護サービス包括型共同生活援助事業所 はなの里 ★短期入所事業所はなの里 ★就労継続支援B型事業所 はなの杜 グループホーム すずらん グループホーム すみれ グループホーム あやめ グループホーム あじさい グループホーム ふじ	大分県中津市江三竹町 1949 番地 中津市新魚町 1862 番地 中津市中殿町 3 丁目 6-7 中津市新魚町 1862 番地 中津市金谷森ノ丁 2225 番地 中津市新魚町 1862 番地 中津市中殿町 3 丁目 6-7 中津市金谷森ノ丁 2225 番地	0979-64-9511 0979-64-9512
R2.4	四季の里	★就労継続支援B型事業所 四季の里 ★介護サービス包括型共同生活援助事業所 四季の里 グループホーム 鶴見 グループホーム 由布 グループホーム 扇山 グループホーム 志高 グループホーム 高崎 グループホーム なごみ	別府市亀川四の湯町 18 番 18 号 別府市大字内竈字上別府 1150-1 別府市大字内竈字上別府 1150-1 別府市大字野田 139 番地 1	0977-84-7535 0977-84-7536
H28.4	放課後等 デイサー ビス	放課後等デイサービス事業所 明日の輪	単位 1) 大分市大字佐野字宮ノ下 4453 番地 単位 2) 大分市大字佐野字宮ノ下 4454 番地 2	097-578-6611 097-578-6622 097-594-9033 097-594-9034
R2.2		放課後等デイサービス事業所 翔の輪	大分市角子原 1 丁目 11 番 22 号	097-574-7142 097-574-7143
R2.2		放課後等デイサービス事業所 四季の里	別府市大字内竈字上別府 1150-1	0977-75-6668 0977-75-6669

(2)事業体型

第二種社会福祉事業
ア 障害福祉サービスの経営
イ 相談支援事業の経営
ウ 障害児通所事業の経営

(3)拠点別事業

ア障害福祉サービス

拠点	開設	事業	定員	事業	定員	実員
のびる園	S60.12	就労 B	10 名	GH	12 床	9 名
明日の輪	H28.4	多機能	49 名	GH	49 床	46 名
大樹	H29.4	就労 B	40 名	GH	45 床	41 名
美久の杜	H29.8	就労 B	38 名	GH	50 床	43 名
ひかり	H30.4	就労 B	41 名	GH	45 床	42 名
はなの里	H31.4	多機能	28 名	GH	49 床	44 名
四季の里	R2.4	就労 B	31 名	GH	50 床	43 名
はなの杜	R5.4	就労 B	14 名			
合計			251 名		300 床	268 名

※明日の輪 短期入所 1 床、はなの里 短期入所 1 床

イ 相談支援事業

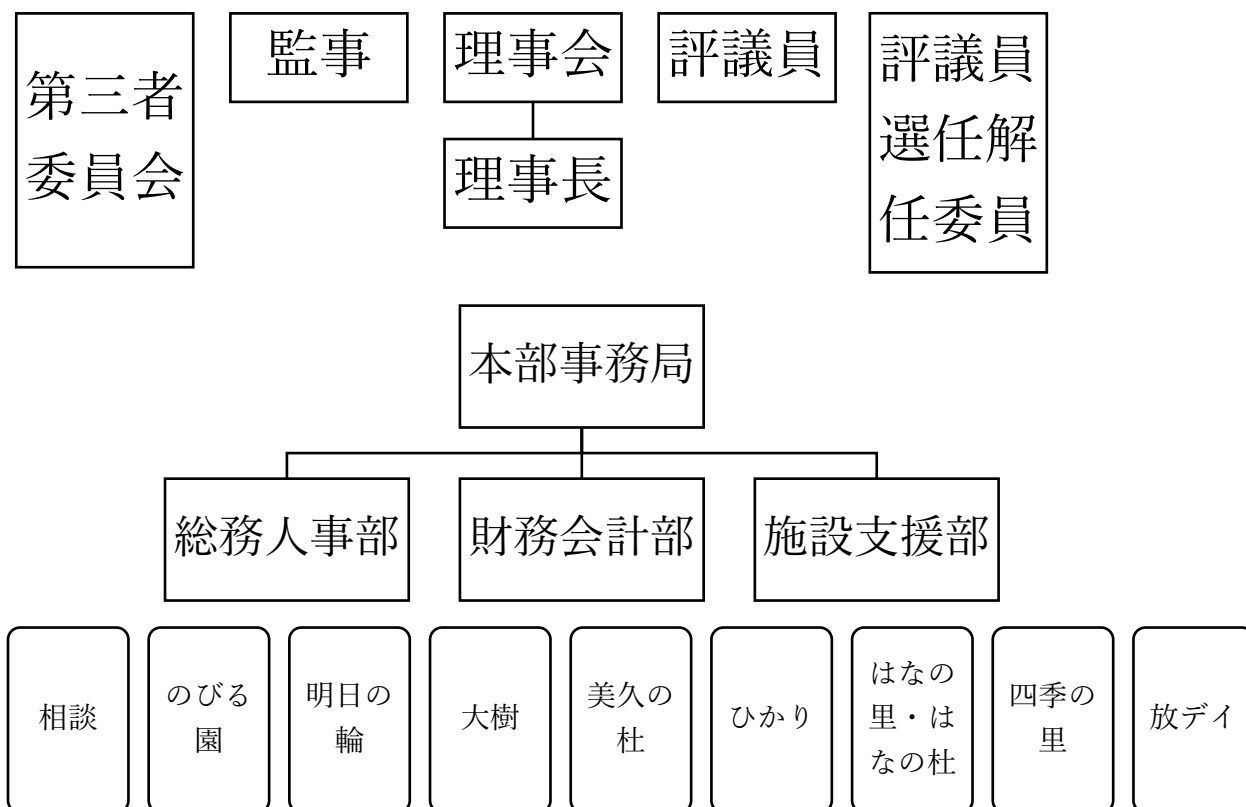
拠点	開設	事業	契約	実員(月)
相談のびる園	H27.1	特定相談(計画)	180名	39 名
	H30.4	一般相談(地域移行、地域定着)		2 名

ウ 障害児通所支援事業

拠点	開設	事業	契約	実員(月)
明日の輪	H28.4	放課後等デイサービス	30 名	10 名
あすのわ	R3.4	放課後等デイサービス	20 名	10 名
翔の輪	R2.2	放課後等デイサービス	30 名	10 名
四季の里	R2.4	放課後等デイサービス	12 名	7 名
合計			82 名	37 名

(4)組織体制

○組織図



○役員等

理事	9	うち理事長、業務執行理事 3 名
監事	2	
評議員	10	
評議員選任解任委員	3	
第三者委員	2	

○職員

	正規職員	臨時職員	臨時パート		正規職員	臨時職員	臨時パート
本部	6			放デイ明日の輪	8	3	5
のびる園	3	1		放デイ翔の輪	6		2
明日の輪	4	11	43	放デイ四季	5		2
大樹	5	23	12				
美久の杜	5	10	45				
ひかり	8	16	29				
はな	4	26	10				
四季の里	4	11	26				
小計	39	98	165	合計	19	3	9

正規 58 名 臨時(常勤) 101 名 臨時(パート)174 名 総数 333 名

(5)役員会議等

○理事会

令和5年6月9日	1号報告 1号議案 2号議案 3号議案 4号議案 5号議案 6号議案 7号議案 8号議案	中間報告(理事長及び業務執行理事の執行状況報告) 令和4年度事業報告及び決算報告 諸規則の変更 賞与 次期役員候補者 評議員候補者 評議員選任解任委員の選任 新規事業 評議員会開催日程
令和5年6月23日	1号議案 2号議案	理事長及び業務執行理事の選任 新理事の選出
令和5年9月22日	1号報告 2号報告 1号議案 2号議案 3号議案	中間報告(理事長及び業務執行理事の執行状況報告) 監査報告(ひかり、美久の杜、四季の里) 諸規則の変更 本部職員及び施設長任命 新規事業
令和5年12月1日	1号報告 1号議案 2号議案 3号議案 4号議案 5号議案 6号議案	中間報告(理事長及び業務執行理事の執行状況報告) 基本財産の所有 定款変更 借入金 設計事務所の選定 賞与 諸規則の変更
令和6年3月22日	1号報告 1号議案 2号議案 3号議案 4号議案 5号議案	中間報告(理事長及び業務執行理事の執行状況報告) 令和6年度事業計画案について 令和6年度当初予算案について 諸規則の変更について 本部職員及び施設長任命について 中期経営計画案について

○監事監査

令和5年5月30日	令和4年度報告
-----------	---------

○評議員会

令和5年6月23日	1号議案	令和4年度事業報告及び決算報告 理事・監事の選任 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程
令和5年12月1日	1号議案 2号議案	基本財産 定款変更

○評議員選任解任委員会

令和5年6月9日	1号議案	評議員の選任
----------	------	--------

○第三者委員会

令和5年6月23日	令和4年度報告(ヒヤリハット、事故、要望、苦情)
-----------	--------------------------

(6)登記事項

令和5年6月28日	資産変更
令和5年10月12日	理事長重任
令和5年12月22日	土地建物所有権移転(購入)

(7)新規整備等事業

令和5年4月1日	グループホーム「四季の里」増設 20名
令和5年7月1日	グループホーム「はなの里」増設 10名
	就労継続支援B型「はなの杜」開設 20名
	放課後等デイサービス「四季の里」移転 亀川四の湯町⇒亀川浜田町
令和5年8月1日	就労継続支援B型「四季の里」改築

(8)要望・苦情

区分	のびる	明日	大樹	美久	ひかり	はな	四季	放デイ	合計
要望		1			1				2
苦情									0

(9)ヒヤリハット報告・事故報告

区分	のびる	明日	大樹	美久	ひかり	はな	四季	放デイ	合計
ヒヤリ	6	5	39	9	17	2	11	21	110
事故	1	6	7	9	8	4	4	2	41

Ⅱ. 本部事務局運営報告

1. 業務報告

(1)総務部 「環境整備(設備、リスク、地域)の強化」

取組	具体的取組	
会議行事等の強化	理事会・評議員会・監事監査の徹底。 第三者委員会の徹底。 施設長会議の徹底。 リスクマネジメント会議の徹底。 経営会議の徹底。 その他会議・行事等の徹底。	・円滑な定時及び臨時の理事会や評議員会等を行い、提案事項や報告事項の充実、正確な議事録の作成に努めます。 ・経営会議、施設長会議等を毎月行い、経営戦略に努めました。 ・その他会議や行事等の円滑な運営に努めました。
理事・監事等就任関係管理の強化。	理事・監事・評議員等の就任等の徹底。	・理事・監事・評議員等の適切な就任等手続きに努めました。
地域共生社会への推進	地域貢献の徹底。 地域行事・地域貢献・会議の徹底。	・地域貢献や地域交流を増やし、地域ネットワークの構築に努めました。 ・医療、介護、学校等多職種連携に努めました。
施設・設備・車両等の管理の徹底。	施設・設備・車両等の徹底。	・適切な施設・設備・車両管理に努めました。
公印・書類管理の強化。	公印管理の徹底。 定款及び諸規則の管理の徹底。 書式集管理の徹底。 その他書類管理の徹底。 事務指導の徹底。	・内部通達の周知徹底を図り、確実な拠点への通知に努めました。 ・関係法令等を遵守必要事項の登記や関係省庁等への申請・届出等の徹底に努めました。 ・コンプライアンス・プライバシーポリシー等を作成・掲示を行い法令遵守に努めました。
緊急時対応・苦情対応の強化。 リスク管理の強化。	特別事項報告・ヒヤリハット報告・事故報告・顛末書・リスク要因検証報告・感染症報告等の管理の徹底。 苦情窓口・対応の徹底。 第三者委員会の活用の徹底。 緊急時対策・対応の徹底。 リスクマネジメント計画の徹底。	・施設からの報告を受け適切なリスク管理に努めました。 ・リスクマネジメント計画書を策定し、PDCAに努めました。 ・第三者委員会の活用に努めました。 ・緊急時・苦情対応に努めました。
広報の強化	パンフレット制作、ホームページ公開、ワムネット公開の徹底。	・ホームページ公開やパンフレット制作を行い、情報公開に努めました。 ・適時、ワムネットの公開に努めました。

(2)人事部 「 質の高い人材育成と人材確保と組織風土の醸成」

取組	具体的取組	
福祉人材の確保、福祉教育への積極的な協力	採用方法の徹底。 採用・更新・異動・退職手続きの徹底。 給与・賞与・年末調整計算の徹底。 人事評価・昇進・昇給の徹底。 処遇改善加算計画の徹底。 諸規則職員体制の徹底。	・効果的な採用に努めました。 ・就業規則等の見直し、役職手当や資格手当、資格取得助成金制度や職員研修とリンクした人事考課制度を作り、職員の士気向上に努めました。
福祉人材の定着、職員の安全と健康の確保、職員処遇の現状の把握・分析・課題抽出、多様な人材が活躍できる職場づくり	労働者名簿の徹底。 労働基準監督署及び行政等との対応の徹底。 福利厚生の徹底。 職員の相談窓口・対応の徹底。 メンタルヘルスの徹底。 ストレスチェックの徹底。 健康診断予防接種等の徹底。 年休の計画的取得の徹底。 時間外労働時間の削減の徹底。 育児・介護・病気休暇等の徹底。	・ノー残業を目指し、ワークライフバランスのとれた働き方を実現することが出来るよう努めました。 ・ストレスチェックの実施や個別面談によりメンタルヘルスへの取り組みに努めました。 ・健康診断等の徹底を図り、職員の健康意識向上に努めました。 ・職員の声に耳を傾け、円滑な業務の遂行や円滑な対人コミュニケーションが出来、ワークライフバランスのとれた職場をつくり職員の働きやすい職場作りに努めました。
経営理念等の明示・周知徹底、期待する職員像の明確化、継続・発展させるための取組、業務の標準化と統一した業務行動、総合的な人材マネジメントシステムの構築、職員間の横断的連携の推進	内部研修の徹底。 トレーニーの徹底。 外部研修の徹底。(サビ管・強度行動障害等) 資格取得の徹底。(社会福祉士・衛生管理等)	・本部主催の内部研修を計画的に開催しました。 効果的な内部研修の強化、外部研修や資格取得推進に努め、多方面において意識の高い人材育成に努めました。
人材育成制度の構築、体系的な研修プログラムの構築、キャリアパスの明確、リーダー層の育成、総合的な人材の育成		

(2) 財務企画部 「 経営基盤と健全財務の確立 」

戦略	具体的取組	
経営理念等の明確化、生産性向上への取組、コンプライアンス体制の強化、ガイドライン活用での評価、自己研鑽、次世代育成の強化。	内部研修手引書(方針・マニュアル・研修資料)の徹底。 法人評価・施設評価・人事評価の検証の徹底。 中長期計画書(R6～R8)の徹底。 単年度事業計画・報告の徹底。	・内部研修手引書の作成及び見直しを行い、業務の標準化に努めました。
地域福祉への取組強化。	ホームページ公開(組織、事業報告、評価報告等)の徹底。	・借入金・寄付金・地域のニーズを収集した新規事業等の企画を行い健全な財務管理に努めました。 ・法人全体の運営に視野を広げ、社会情勢や最新情報を早めにキャッチし、利用率 90%以上・健全な新事業企画に努めました。
経営計画の策定、長期的な資金計画、経営改善、事業継続への備えの強化。		・中長期、事業計画書、事業報告書を作成し、健全な法人運営、事業運営の推進に努めました。
組織統治機能強化、業務執行機能の強化		・ガバナンス強化し業務の統一化を図り、円滑な業務の遂行に努めました。
事業経営の透明性の強化。		・自社ホームページに適時適切な情報公開に努めました。
財務状況の把握、正確な計算書類の作成、財務基盤の確立の強化。	予算・決算の徹底。 経営分析目標値設定の徹底。 月次報告の徹底。	・当初予算及び補正予算を立案し、適切な予算管理を励行しました。 ・財務諸表作成・消費税申告等を行い、適切な決算に努めました。 ・経理規程に基づき、適正な物品購入や各種契約の徹底に努めました。 ・健全な拠点キャッシュフロー・拠点等各区分間繰入に努めます。 ・正確な月次報告の作成に努めました。
コスト意識の醸成の強化。	実行予算(予算対比)の徹底。	・ムダ・ムリなコスト削減を行い、成果を上げる生産性の向上に努めました。 ・請求・領収書などの管理を行い、コストパフォーマンスに努めました。
適正な資金運用の強化。	資金運用の徹底。	・安全性の強い資金運用に努めました。
経理知識・技術の向上、会計に関する十分な体制の整備・職務権限や役割の明確化の強化。	経理指導の徹底。 社会福祉法人会計資格取得の推進。 職務権限者の業務遂行の徹底。	・正確な経理事務に努めました。 ・職務権限者に基づいた出納事務に努めました。 ・社会福祉法人会計資格取得の推進に努めました。

(4) 施設支援部 「 質の高いサービスの提供 」

取組	具体的取組	
<p>基本理念等における明確化、個人情報保護体制の整備</p>	<p>【指定基準等】 指定申請・変更の徹底。 指定期間更新手続きの徹底。 指定基準(人員配置・設備等)の徹底。業務管理体制届の徹底。 【諸規則・計画書・マニュアル等・掲示物】 諸規則設置の徹底。 各種計画書・マニュアル等設置の徹底。 掲示物の徹底。ルール遵守の徹底。</p>	<p>・健全かつ円滑な施設経営運営活動に努めました。 ・根拠法令に基づいた指定基準を遵守に努めました。 ・関係法令及び法人内ルールの遵守に努めました。 ・施設掲示物や設置物の徹底を図り、周知徹底に努めました。</p>
<p>福祉サービス利用者の自己決定と選択の尊重、職員に対する倫理教育の充実、多様化・複雑化する福祉的ニーズへの支援、福祉サービス利用者の自己決定と選択の尊重、インフォームドチョイスの重視、虐待防止、権利擁護の充実 苦情解決・相談体制の整備</p>	<p>【対人援助】 人権を尊重した支援の徹底。 風通しのよい組織風土の徹底。 【個別支援計画とサービス記録】 個別支援計画の徹底。 サービス記録の徹底。</p>	<p>・利用者の自己決定尊重や最善の利益優先を意識し、人権に根差した個別支援計画の作成及び支援の提供に努めました。 ・組織風土の醸成に努めました。</p>
<p>サービス提供方針の明確化、業務手順・マニュアルの策定、職員教育・研修の充実 福祉サービス利用者や家族等の満足度向上、サービスの自己点検と継続的な改善、第三者によるサービス評価の受審、苦情解決における第三者委員の設置(活用)、福祉サービス提供事故等の未然防止 サービスの記録と情報開示</p>	<p>【稼働】 稼働率 90 パーセント、施設間調整、渉外 【利用者満足度アップ】 関係機関との密な連携の徹底。 多職種連携の徹底。 成年後見制度の推進の徹底。 支援(日常生活・就労・社会生活等)の徹底。 行事の徹底。 5S の徹底。食事の徹底。 地域貢献・地域交流の徹底。 【苦情・相談体制】 意見箱・苦情窓口体制の整備の徹底。 【評価】 自己評価・外部評価の徹底。</p>	<p>・関係機関と密な連携を図り、空床の防止・入退去者のスムーズな対応・退去者のフォローアップに努めました。 ・明るく綺麗な環境を役職員一丸となって意識し、利用者や地域から選ばれる施設づくりに努めました。</p>
<p>安心・安全な施設・施設環境の整備、QOL:生活の質の向上、感染症対策の徹底 日常的な医療との連携、法定サービス以外の福祉的支援体制 BCM:事業継続マネジメントの実践</p>	<p>【緊急時】 緊急時体制の徹底。 【リスク関係の報告】 特別事項報告・ヒヤリハット報告・事故報告等の感染症クラスター報告の徹底。 リスク要因管理報告の徹底。 【リスク関係の計画】 虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、自然災害対策、サービス提供時事故対策、防犯、職員安全衛生計画の徹底。 感染症対策 BCP・自然災害対策 BCP の徹底 放デイのみ安全計画(BCP)の徹底。</p>	<p>・苦情・災害・事故などの予防に努め、発生時には迅速かつ適切な対応に努めました。</p>
<p>内部監査強化</p>	<p>内部監査の実施。</p>	<p>・定期的な内部監査指導の実施・所轄庁指導監査の対応・事業運営の情報収集を行い、適正な拠点運営に努めました。</p>

2.会議及び研修等

(1) 会議等

全体	施設長会議兼リスクマネジメント委員会(毎月) 臨時 4/15、定時 4/20、5/17、6/16、7/25、8/18、9/15、10/17、11/14、12/21、 1/19、2/21、3/22
本部	経営会議(毎週金曜日)
拠点	朝礼、終礼、職員会議(毎月)、ケース会議(毎月)、世話人会議(毎月)、夜間支援員会議 (毎月)、個別支援策定会議(都度)、役職会議(毎週)、リーダー等会議、 感染症対策委員会(毎月)、非常災害対策委員会(毎月)、虐待防止委員会(毎月)、身体 拘束等適正化委員会(毎月)、職員安全衛生委員会(毎月)、サービス提供時事故等対策 委員会(毎月)、防犯委員会(毎月)

(2) 内部研修(本部主催)

○職種及び役職別研修

施設長研修	4/20、5/17、6/16、7/25、8/18、9/15、10/17、11/14、12/21、1/19、 2/21、3/22
管理職研修	4/15、6/23、9/9、3/16
主任リーダー研修	11/4、11/10(放デイ)
新人職員研修	10/6
サビ管研修	9/9、2/10
事務職研修	12/8

○共通研修

月	内容
4月	サービス提供時事故防止、法令等遵守等、虐待防止・身体拘束等適正化
5月	福祉職員心得、虐待防止・身体拘束等適正化
6月	接遇、非常災害対策、虐待防止・身体拘束等適正化
7月	ハラスメント、疾病障害理解、虐待防止・身体拘束等適正化
8月	価値・倫理、職員安全衛生、虐待防止・身体拘束等適正化
9月	ストレスマネジメント・メンタルヘルス、行動と対応、虐待防止・身体拘束等適正化
10月	コミュニケーション、サービス提供時事故防止、接遇、虐待防止・身体拘束等適正化
11月	ハラスメント、感染症対策、人間環境と集団、虐待防止・身体拘束等適正化
12月	発達概念、法令遵守等、非常災害対策、虐待防止・身体拘束等適正化
1月	脳と心、防犯、虐待防止・身体拘束等適正化
2月	職員安全衛生、接遇、知能創造性思考、虐待防止・身体拘束等適正化
3月	ストレスマネジメント、ハラスメント、対人援助、虐待防止・身体拘束等適正化

○出前研修

虐待防止	11/1 ひかり、11/8 放デイ四季・明日の輪、11/10 大樹、11/22 美久、11/29 四季、1/17 放デイ翔の輪
新規開設	3/ ころの里（法令遵守等、接遇、対人援助）
個別支援計画・報酬改定	2/26 ひかり・美久の杜 2/29 四季の里・はな3/1明日の輪・のびる園 3/2 大樹

(3) トレーニー

R5.12.12	ひかり → 大樹	2名
R5.12.18	明日の輪 → 大樹	2 名
R5.12.27	美久の杜 → はなの里	2 名
R6.1.18	四季の里 → 大樹	2 名
R6.1	のびる園 → はなの里	中止
R6.2	大樹 → 美久の杜	コロナで中止
R6.2	はなの里 → 明日の輪	コロナで中止
R6.3.21	ころの里 → 四季の里	2 名
R6.3.25-26	ころの里 → 美久の杜	2 名
R6.3.27	ころの里 → ひかり	1 名

(3) 外部研修

相談のびる	7月～2月	相談支援者現任者研修
	6月～12月	相談支援者初任者研修(7日間)
のびる園	4月	サービス管理責任者更新研修会
	12月	安全運転管理者講習
明日の輪	5月	大分地域連携ネットワーク
	5月	大分地域連携ネットワーク
大樹	6月	甲種防火管理新規講習
		全国安全週間説明会
	7月	サービス管理責任者更新研修会
	8月	サービス管理責任者更新研修会
	10月	サービス管理責任者、児童発達基礎研修
	12月	安全運転管理者講習
		介護労働者雇用管理責任者講習
	1月	大分県社会福祉協議会合同研修
	3月	県北地区報酬改定に関する勉強会
美久の杜	11月	成年後見フォーラム
	12月	介護労働者雇用管理責任者講習
	2月	成年後見人制度研修
ひかり	6月	相談支援者初任者研修(2名)
	9月	大分県福祉協議会苦情解決セミナー
	11月	大分市障害者自立支援協議会 発達障害者支援
四季の里	5月	地域連携ネットワーク
	6月	大分県発達障害者支援専門員上級研修
		自閉症親の会
	9月	人権研修
	10月	サービス管理責任者更新研修
はな	3月	令和6年度報酬改定研修会
	5月	地域連携ネットワーク
	9月	知的障害と発達障害の違いと新型コロナウイルス感染症チェックリスト説明会

(4) 資格取得

社会福祉士	大樹 1 名
衛生管理者	明日の輪2名、大樹1名、ひかり1名
防火管理者	大樹 1 名

3. 拠点行事

	計画	のびる	明日の輪	大樹	美久の杜	ひかり	はなの里 はなの杜	四季の里	放デイ
4 月	花見 防災訓練	総会 花見	花見	食事会 地域貢献	花見	田ノ浦ビ ーチ散策	花見 防災訓練	調理レク	花見
5 月	散策 感染症勉 強会		神社奉仕 活動	くじ引き 大会 地域貢献	釣り ガンジー ファーム	食事交流 会	散策 感染症勉 強会	散策レク	こいのぼ り 避難訓練 AED 訓練
6 月	散策 衛生委員 会	地域貢献	外食	食事会 地域貢献	オムロン 太陽見学	カラオケ 大会	ドライブ 衛星勉強 会	ゆうあい スポーツ 大会 散策	父の日
7 月	七夕 スタミナ 会 健康診断		ボーリン グ・カラ オケ大会	防災訓練 救急救命 講習	七夕・ス タミナ会	外食	バーベキ ュー 健康診断	外食レク	七夕 水遊び
8 月	夏祭り 大掃除	かぼす頑 張ろう会		食事会 地域貢献	夏祭り	夏祭り	夏祭り 大掃除	夏祭り 感染予防 研修	うちわ作 り 夏グッズ 作り
9 月	月見 健康診断	かぼすま だまだ頑 張ろう会	食事レク	ブラチナ 市 出店 災害時想 定 訓練	梨狩り	梨狩り	月見 健康診断	散策 地域貢献 防災訓練	お月見 避難訓練 敬老の日
10 月	ハロウィ ン インフル エンザ予 防接種		お月見	食事会	ボーリン グ大会	ハロウィ ン	ゲーム大 会 インフル エンザ予 防接種	秋祭り 地域貢献 インフル エンザ予 防接種	運動会 ハロウィ ン
11 月	散策 感染症勉 強会		食事レク	食事会 ともちか 890 ライブ	映画鑑賞	紅葉散策	散策 感染症勉 強会	紅葉狩り 地域貢献	秋の自然 物を使っ た作品つ くり
12 月	クリスマ ス会 大掃除	忘年会 クリスマ ス	外食 大掃除	食事会	クリスマ ス会	クリスマ ス会	クリスマ ス会・大 掃除	忘年会 大掃除	クリスマ ス会
1 月	初詣 防災訓練	初詣	初詣	初詣	ゴリラ 大分	初詣	初詣 防災訓練	初詣 地域貢献	初詣 お正月遊 び
2 月	節分 安全勉強 会	節分		節分	カラオケ 大会	カラオケ 映画鑑賞 食事交流 会	節分 安全勉強 会	防災訓練	節分
3 月	ひなまつ り 防災訓練	ウォーキ ング 温泉	イルカ島	ひな祭り 防災訓練 防犯訓練	いちご狩 り	ひな祭り	ひなまつ り 防災訓練	ひな祭り 地域貢献 フライン グディス ク大会	ひな祭り

Ⅲ 障害福祉サービス事業報告

1. 基本方針

(1) 共同生活援助事業、短期入所

ふれあいの場を提供するとともに、生活体験の広がりの中で、一人ひとりが自立に向けて意欲と自信を育むよう支援しました。

居住の場を提供し、地域の中で自立した生活を営むことができるよう、必要な支援を行いました。

利用者一人ひとりの健康と安全に配慮し、安定した生活リズムを形成するとともに、楽しく充実した日々を過ごせるように支援しました。

身近生活自立への支援を通じて、生活習慣とコミュニケーションの形成に努めました。

地域の人々との交流を深め、共生の理念に基づく地域づくりを推進するとともに、障がい者の社会参加に努めました。

(2) 就労継続支援 B 事業

利用者一人ひとりの健康と安全に配慮し、安定した生活リズムを形成するとともに、楽しく充実した日々を過ごせるように支援しました。

身近生活自立への支援を通じて、生活習慣とコミュニケーションの形成に努めました。

地域の人々との交流を深め、共生の理念に基づく地域づくりを推進するとともに、障がい者の社会参加に努めました。

就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、利用者一人ひとりのペースに合わせ、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。

多様化する利用者の障害特性やニーズに応えた作業の提供を目指しました。

(3) 生活介護事業

ふれあいの場を提供するとともに、生活体験の広がりの中で、一人ひとりが自立に向けて意欲と自信を育むよう支援しました。

利用者の障がいの状況や能力、興味に適した活動場面を提供し、作業や活動への興味をみだし個性や長所の伸長を図りました。

2. 業務報告

(1) 個別支援計画

・個別支援計画を支援の柱とし、一人ひとりの状況や目標に合わせた支援課題を見出し、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう適切な支援に努めました。

・本人や家族からの言葉を聞き取り、関係機関の意見も聞き入れ、利用者の意思・主体性を尊重した個別支援計画を策定しました。

・差別や偏見から本来有している力を発揮しきれない状態にある人に対しその力を引き出すための援助(エンパワメント)や利用者の持つ強さ、良さ、長所、コンピテンス(潜在能力)を引き出し、ひとつの行動を肯定的にみた(ストレングスモデル)個別支援計画を策定しました。

・相談支援専門員からのサービス利用計画書に従って、具体的な個別支援計画を策定しました。

・利用者と十分な話し合いの上での同意に基づき、入所時、入所時以降4月と10月に個別支援策定会議を開催し、個別支援計画書の策定・見直しを行いました。

(2) 利用者支援

① 身の清潔維持

・支援を必要とする個々の利用者に対し、適切な介助と支援を行い習慣化を目指しました。

・食事：咀嚼や嚥下に注意 姿勢やマナーの習得 過食、偏食の支援しました。

・排泄：定時排泄は必要に応じて適切な誘導や介助・清潔保持・失禁の配慮など支援しました。

・着脱衣：身だしなみ・寒暖調整・TPOに応じた服装が適切に出来るよう支援しました。

・清潔：更衣の準備・髪、ひげ、爪の手入れ・入浴などをし清潔を維持することが出来るよう支援しました。

① 健康面

- ・健康管理：健康状態の観察・早期発見・服薬の把握などを行いました。
 - ・肥満・生活習慣病予防：運動の習慣化・過食の防止などを支援しました。
 - ・健康診断・健康相談：年1回の健康診断の推進や体調等の相談等支援しました。
 - ・感染症対策：手洗いやうがいの徹底をし流行期対策や感染後対応等支援しました。
- ② 食事・給食
- ・食事場面の設定：安全で楽しい環境づくりをし食事後の口腔内、口周の清潔を支援しました。
 - ・栄養管理・栄養指導：バランスのよい食事が摂ることが出来るよう支援しました。
- ③ 環境整備
- ・建物環境：建物内外の点検や修繕を行い安全な環境作りを支援しました。
- ④ 社会生活
- ・行事への参加：自己の主張と他者への配慮・責任と分担が出来るように支援しました。
 - ・外出（社会見学や買い物等）：公共の場でのルール・公共施設の利用・場面ごとの安全配慮・四季折々の変化や歳時を実感することが出来るように支援しました。
- ⑤ 作業就労
- ・基礎的な知識・技能・態度が身に付くよう利用者と一緒に仕事に取り組み、働くよろこびを共有し自立した社会生活を送ることが出来るよう支援しました。
 - ・利用者個々の意向・適性・作業能力等に加え、高齢化・重度化・重複化を勘案し、適切な作業訓練を行いました。
 - ・利用者やその家族の意向、ニーズに基づき、利用者一人ひとりのスピードに合わせ、一般就労に向けた支援を行いました。
- (3)管理運営
- 個人情報保護等
- ・個人情報保護等に関する法令、その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めました。
 - ・個人情報の利用目的を特定し、公正かつ適切に取り扱いました。
- 法令等遵守
- ・法令及び諸規則の遵守はもとより、社会規範、慣習等のルール・精神を尊重し、社会的良識をもって行動しました。
- 苦情相談
- ・苦情相談窓口を設け、利用者の意見に真摯に対応していくとともに、意見や要望に対しても丁寧に説明や対応を行いサービスの質の向上を図りました。
 - ・苦情処理体制を整備・拡充し、苦情の際には速やかに必要に応じた対応を行いました。
- ハラスメント防止
- ・すべての従業員は、他の従業員を業務遂行上の対等なパートナーとして認め、職場における健全な秩序ならびに協力関係を保持する義務を負うとともに、職場内においてセクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児・介護休業等に関するハラスメントを行わないように努めました。
- 非常災害対策
- ・訓練内容は、より実践的な訓練となるよう協議し、年に1回は消防署当立ち合いのもと消防実地訓練を行いました。
 - ・自然災害の地震・津波・風水害・土砂災害のマニュアル及び計画書に基づき、教育及び訓練を実施しました。
 - ・地域の協力を得ながら夜間想定を含めた避難訓練を実施し災害意識の啓発と災害発生時の対応に備えました。
- 虐待防止
- ・常に相手の立場に立ち、適切な支援を心がけました。
 - ・毎月、「職員セルフチェック」及び「虐待防止の為に自己チェック」を行いました。
 - ・所轄の虐待防止センターと連携し対応を図りました。
 - ・人権意識の研修等に積極的に参加し、職員一人ひとりの人権意識を高めていきました。

- ・利用者に対して常に適切な接遇やケアが行われているか施設全体で常に意識して業務を行えるよう、注意喚起や情報提供を行い、虐待や身体拘束を未然に防止しました。
- ・研修会を通じて、職員の虐待防止や身体拘束廃止に対する認識の統一を図りました。

○身体拘束等廃止

- ・利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為(身体拘束等)を行わないように努めました。
- ・やむを得ず身体拘束等を行う場合には、その対応及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由その他必要な事項を記録します。

○感染症対策

- ・平常時や発生時に対応できるマニュアル(計画書)を作成し、新型の感染症にも対応できる BCP も随時作成し、有事に備えました。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、委員会を適宜開催し予防策の周知と情報の共有を徹底し感染予防に努める。また施設内で発症者が出た場合を想定した対策も検討し、発生時には委員を中心に施設全体で対応していきました。
- ・インフルエンザやノロウイルス等の感染症についても、予防策の周知徹底と発生時 の対応強化を図り、感染症の蔓延を予防する。また研修会や訓練を通じて発生時の実践的な対応や感染症に関する知識を習得する機会を設けました。

○防犯対策

- ・障害のあるなしに関わらず地域とのつながりを大切にしつつ、一方犯罪の被害を抑え、利用者や職員の安全・安心を確保するという両立を図りました。
- ・防犯マニュアルを作成し、施設の最低限の防犯への備えと意識を心がけることができるよう努めました。
- ・施設・個室の施錠励行と確認の徹底も含め被害者とならないことはもちろん、加害者となり得ないように注意しました。

○サービス提供時の事故防止

- ・危険因子の排除や環境改善、設備機器等の点検等を適時実施しました。
- ・作業・生活面の両面において日常的な安全意識の高揚により、作業事故、車両事故等の防止に努めました。
- ・環境整備の取り組みとして、施設内外の清掃を毎日行い、年に2回大掃除を行い、安全・快適な環境づくりと環境美化に対する意識の高揚に努めました。
- ・日常の健康チェックを通して、利用者の心身状態の把握に努め、疾病等の早期発見・早期治療の働きかけを行いました。
- ・日々のバイタルチェックを行い、予防接種や健康診断、また研修を通じた職員の知識習得に努めて、病院と連携した健康管理を徹底しました。

○職員の安全衛生

- ・職員は、労働安全衛生に関する法令及び本規程に定める事項を遵守するとともに、災害の防止、健康の維持及び衛生管理に努めました。

○職員会議

- ・生活状況や、それぞれの意見について話し合い、利用者が望む生活しやすい空間を作っていました。
- ・利用者個々の課題や支援方法について検討し、全利用者の共有が全職員が出来るようにしていました。
- ・以下定期の会議及び臨時の会議を開催・出席し、職員同士の情報共有及び意思疎通を図り円滑な業務を遂行しました。

毎日 朝礼、夕礼、

月1回の職員会議、ケース会議、世話人会議、リスク会議(非常災害対策委員会会議、虐待防止委員会会議、身体拘束等廃止委員会会議、感染症対策委員会会議、防犯委員会会議、サービス提供時事故防止委員会会議、職員安全衛生委員会会議)

○研修・資格取得

- ・職員研修は、研修と啓発によって、職員個人の能力の向上を図るものであり、自己啓発、職場研修、内部研修、外部研修、資格取得に取り組み資質の向上に努めました。
- ・職場研修(OJT)については、職場を学習の場、人を育てる場として位置づけ、管理監督者が職場研修の目的と方法を明確にし、日常的な業務をこなすための研修をはじめ、課題解決など総合的視点から理解を深め、政策形成能力などを育成する研修の場としても推進していきました。

○訓練

- ・あらゆる事故等を想定し、万が一事故がおきても慌てず円滑な行動が出来、被害を最低限に抑え、事業を継続していくことが出来るよう定期的な訓練を行いました。

(4)家族や関係者との連携

- ・適切な支援を図るためには、家族や関係機関の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持することに努めました。

(5)地域貢献・地域交流

- ・自動販売機を設置し、日本財団等への寄付に努めました。
- ・地域で開催される諸行事や当法人の行事への相互交流を通して、地域住民と利用者とのふれあいを深め、相互補完による地域福祉の充実強化を図りました。
- ・災害時などの避難場所の提供・地域への奉仕活動など地域貢献に努めました。

Ⅳ 放課後等デイサービス事業計画

1. 基本方針

支援を必要とする障害のある子どもに対して、学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて、個々の子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図りました。

2. 業務報告

(1)個別支援計画

- ・個別支援計画を支援の柱とし、一人ひとりの状況や目標に合わせた支援課題を見出し、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう適切な支援に努めました。
- ・本人や家族からの言葉を聞き取り、関係機関の意見も聞き入れ、利用者の意思・主体性を尊重した個別支援計画を策定しました。
- ・エンパワメントや利用者の持つ強さ、良さ、長所、コンピテンス(潜在能力)を引き出し、ひとつの行動を肯定的にみた(ストレングスモデル)個別支援計画を策定しました。
- ・相談支援専門員からのサービス利用計画書に従って、具体的な個別支援計画を策定しました。
- ・利用者家族と十分な話し合いの上での同意に基づき、入所時及び誕生日に個別支援策定会議を開催し、個別支援計画書の策定・見直しを行いました。

(2)利用者等支援

○自立支援と日常生活の充実のための活動

子どもの発達に応じて必要となる基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動を行います。子どもが意欲的に関わられるような遊びを通して、成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育めるようにします。将来の自立や地域生活を見据えた活動を行う場合には、子どもが通う学校で行われている教育活動を踏まえ、方針や役割分担等を共有できるように学校との連携を図りながら支援を行いました。

○創作活動

表現する喜びを体験できるようにします。日頃からできるだけ自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもてるようにする等、豊かな感性を培うことが出来るよう支援を行いました。

○地域交流の機会の提供

障害があるがゆえに子どもの社会生活や経験の範囲が制限されてしまわないように、子どもの社会経験の輪を広げていきます。他の社会福祉事業や地域において放課後等に行われている多様な学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により、積極的に地域との交流を図っていききました。

○余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるように工夫しました。

○保護者支援

子育ての悩み等に対する相談を行います。家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援します。保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行いました。

(3)管理運営 ※障害福祉サービスと同じ

(4)家族や関係者との連携 ※障害福祉サービスと同じ

(5)地域貢献・地域交流 ※障害福祉サービスと同じ

V 特定・障害児・一般相談支援事業

1. 基本方針

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、障がい福祉サービスの利用 支援、権利擁護のために必要な援助を行う。また、障がい者が地域で自立して生活して いくために、他業種と連携し、権利擁護や成年後見制度等の活用、障がいのある方々の就労や生活全般にかかる相談支援体制の整備を図ることを目的としました。

2. 業務報告

○基本相談

・利用者の権利擁護の視点に立ち、福祉サービスの利用に限らず成年後見制度や虐待防止に向けて環境調整等必要な支援を行いました。

・関係機関（行政機関・医療機関・教育機関・児童福祉関係者等）と適宜ケア会議など情報交換を行い支援の方向性を確認していきました。

○計画相談

・ご本人・ご家族・関係機関・サービス事業所等と信頼関係を深め、情報共有を行いながら利用者ひとりひとりのニーズに応じて計画作成を行い、サービスや環境調整を行っていきました。

○一般相談

・地域移行支援 入所施設及び病院の長期入所者及び入院者の地域移行の計画と住居の確保等地域生活に移行するための相談・支援をしました。

・地域定着支援 単身等で生活する障がい者に対し、緊急訪問や相談等に応じ、常時の見守り 等を行い地域生活の継続を支援をしました。

○権利擁護

常に障害者が置かれている立場を代弁するという権利擁護の観点に立ち、障害者の自己決 定・自己選択を支援しました。

○資質の向上

研修計画を作成し、外部の集合研修や法人研修への参加、および事業所内部研修を実施し、相談支援の基本姿勢を高め、信頼関係を形成する力・相談支援に係る幅広い知識と技術の習得・交渉力・調整力等の資質向上を図りました。

○苦情の取り組み

・苦情相談窓口を設け、利用者の意見に真摯に対応していくとともに、意見や要望に対しても丁寧に説明や対応を行いサービスの質の向上を図りました。

○連携

・事業所及び多職種との密な連携を図り、利用者の意思決定を尊重しつつ、利用者の最善の利益を優先しました。

○地域貢献・地域交流

・サービス事業所や関係機関等が開催する催し物に積極的に参加しました。

・災害時の避難場所や地域の奉仕活動などに貢献しました。

決 算 報 告 書

(自) 令和 5 年 4 月 1 日
(至) 令和 6 年 3 月 31 日

社会福祉法人豊肥福祉会

法人単位資金収支計算書

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会

（単位： 円）

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
事業活動による収入	就労支援事業収入	33,700,000	38,452,389	△ 4,752,389	
	障害福祉サービス等事業収入	1,239,900,000	1,281,711,039	△ 41,811,039	
	経常経費寄附金収入	0	3,618,368	△ 3,618,368	
	受取利息配当金収入	0	2,190	△ 2,190	
	その他の収入	0	3,178,431	△ 3,178,431	
	事業活動収入計 (1)	1,273,600,000	1,326,962,417	△ 53,362,417	
	人件費支出	638,320,000	684,863,611	△ 46,543,611	
	事業費支出	223,750,000	230,603,846	△ 6,853,846	
	事務費支出	319,530,000	355,669,737	△ 36,139,737	
	就労支援事業支出	33,700,000	38,452,389	△ 4,752,389	
施設整備等による支出	支払利息支出	5,200,000	7,501,135	△ 2,301,135	
	事業活動支出計 (2)	1,220,500,000	1,317,090,718	△ 96,590,718	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	53,100,000	9,871,699	43,228,301	
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	固定資産取得支出	0	206,720,061	△ 206,720,061	
	施設整備等支出計 (5)	0	206,720,061	△ 206,720,061	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	△ 206,720,061	206,720,061	
その他の活動による収入	長期運営資金借入金収入	0	40,000,000	△ 40,000,000	
	その他の活動収入計 (7)	0	40,000,000	△ 40,000,000	
	長期運営資金借入金元金償還支出	18,720,000	21,101,400	△ 2,381,400	
	積立資産支出	4,380,000	5,572,320	△ 1,192,320	
	その他の活動支出計 (8)	23,100,000	26,673,720	△ 3,573,720	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 23,100,000	13,326,280	△ 36,426,280	
	予備費支出 (10)	30,000,000	—	30,000,000	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	△ 183,522,082	183,522,082	
前期末支払資金残高 (12)		0	176,373,555	△ 176,373,555	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		0	△ 7,148,527	7,148,527	

法人単位事業活動計算書

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	38,452,389	37,043,755	1,408,634
	障害福祉サービス等事業収益	1,281,711,039	1,135,704,692	146,006,347
	経常経費寄附金収益	3,618,368	5,700,000	△ 2,081,632
	サービス活動収益計 (1)	1,323,781,796	1,178,448,447	145,333,349
	費用			
	人件費	690,435,931	609,911,845	80,524,086
	事業費	230,603,846	203,529,478	27,074,368
	事務費	355,669,737	310,965,793	44,703,944
	就労支援事業費用	38,452,389	37,043,755	1,408,634
サービス活動外増減の部	減価償却費	4,701,080	5,098,953	△ 397,873
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2,035,599	△ 2,079,284	43,685
	サービス活動費用計 (2)	1,317,827,384	1,164,470,540	153,356,844
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	5,954,412	13,977,907	△ 8,023,495
	収益			
	受取利息配当金収益	2,190	2,692	△ 502
	その他のサービス活動外収益	3,178,431	11,858,438	△ 8,680,007
	サービス活動外収益計 (4)	3,180,621	11,861,130	△ 8,680,509
	費用			
	支払利息	7,501,135	5,964,273	1,536,862
繰越活動増減差額の部	サービス活動外費用計 (5)	7,501,135	5,964,273	1,536,862
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	△ 4,320,514	5,896,857	△ 10,217,371
	経常増減差額 (7)=(3)+(6)	1,633,898	19,874,764	△ 18,240,866
	特別収益			
	特別収益計 (8)	0	0	0
	費用			
	特別費用計 (9)	0	0	0
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	0	0	0
	当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	1,633,898	19,874,764	△ 18,240,866
	繰越前期繰越活動増減差額 (12)	△ 48,992,225	△ 68,866,989	19,874,764
繰越活動増減差額の部	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	△ 47,358,327	△ 48,992,225	1,633,898
	基本金取崩額 (14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)	0	0	0
	その他の積立金積立額 (16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△ 47,358,327	△ 48,992,225	1,633,898

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会 (単位： 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減		当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	428,188,010	356,321,292	71,866,718	流動負債	459,776,937	198,664,137	261,112,800
現金預金	82,252,558	94,686,336	△ 12,433,778	短期運営資金借入金	404,000,000	150,000,000	254,000,000
未収金	271,481,981	221,683,952	49,798,029	未払金	29,972,224	28,693,626	1,278,598
立替金	1,805,415	1,115,221	690,194	1年以内返済予定長期運営資金借入金	24,440,400	18,716,400	5,724,000
前払金	70,650,596	37,637,307	33,013,289	預り金	683,580	582,478	101,102
前払保険料	1,997,460	1,198,476	798,984	仮受金	137,233	137,233	0
				未払消費税等	543,500	534,400	9,100
固定資産	276,389,357	70,495,908	205,893,449	固定負債	188,321,564	171,272,496	17,049,068
基本財産	252,810,846	49,268,140	203,542,706	長期運営資金借入金	171,474,500	158,299,900	13,174,600
土地	161,789,522	3,500,000	158,289,522	退職給付引当金	16,847,064	12,972,596	3,874,468
建物	91,021,324	45,768,140	45,253,184	負債の部合計	648,098,501	369,936,633	278,161,868
その他の固定資産	23,578,511	21,227,768	2,350,743	純 資 産 の 部			
建物	5,966,274	6,459,298	△ 493,024	基本金	83,469,867	83,469,867	0
構築物	4	4	0	国庫補助金等特別積立金	20,367,326	22,402,925	△ 2,035,599
機械及び装置	37,549	79,038	△ 41,489	その他の積立金	0	0	0
車輛運搬具	10	10	0	次期繰越活動増減差額	△ 47,358,327	△ 48,992,225	1,633,898
器具及び備品	27,531	1,016,743	△ 989,212	(うち当期活動増減差額)	1,633,898	19,874,764	△ 18,240,866
権利	73,500	73,500	0	純資産の部合計	56,478,866	56,880,567	△ 401,701
投資有価証券	326,579	326,579	0				
出資金	300,000	300,000	0				
退職給付引当資産	16,847,064	12,972,596	3,874,468				
資産の部合計	704,577,367	426,817,200	277,760,167	負債及び純資産の部合計	704,577,367	426,817,200	277,760,167